

人理を修復するとう重圧で
性処理もままならなかった俺を
ダヴィンチちゃんが見かねて、
いつの間にか
精子を抜いてもらう事が日常と
なっていた。

ムワッ...

ふふ♥随分と猛ってるね♥
私を見ただけでこの勃起具合...
大分調子がきたみたいだね♥
もどってきたみたいだね♥

くう…!!
ダヴィンチちゃんの
口とても温かい!

ふふ♡こんなになに
ガクガクにしたいに
私の口がそんなにか
恋しかつたのかい?♡

れるん♡

れる♡

少し舐めただけで
先走り汁が溢れてるね…♡
焦らすというのも酷だし
早速始めるよ♡

ぢゅっ♡♡ぢゅるっ♡
なんふっ♡ぢゅるっ♡
かなな♡ぢゅるっ♡
ポの♡野性味あふれる♡
干味の♡

ちゅっ♡♡ちゅるっ♡
んふっ♡♡ちゅるっ♡
増してきたね♡

ダヴィンチちゃんは
美しい唇で俺の肉棒に吸い付く。
だんだんと彼女の普段の姿とは
変わって、表情に
色味がついてきたのがわかった。

ちゅっ♡

セクッ

ちゅっ♡

セクッ

んふっ♥んぶ♥ふっ♥
んぽが跳ねてる♥
そろそろ射精そうかな♥

んぶっ♥ぢゅ♥ぢゅぶっ♥
完璧な美しい女性の
ロマンコに
存分と吐精するといいい♥

ダヴィンチちゃんの
献身的なフエラチオに
耐えられるはずはなく、
俺はあっけなく限界を迎えた。

射精るっ！

ムンムン
ムンムン

ムンムン

ムンムン

ムンムン

どくどくどくっ♡♡♡
ぶっ♡びゅるるるっ♡♡



んん
くっ♡
っ♡
♡ん
んぶっ
くっ♡
♡ん
んく
♡

いんちゅ♡
つもより♡
濃厚くて♡
牡臭むん♡
むんの♡
チンポ汁が♡
♡
♡
♡

ダヴィンチちゃんは
チンポを奥までくわえ込み
射精したザーメンを
口マシコでうけとめ、
喉を鳴らしながら飲み干していく。



ゴゴゴ

グッ
グッ

イク
イク

ゴゴゴ

ぢゅるっ♡ぢゅー♡
魔力の乗った良い♡
魔の濃厚ゲームだ♡
こっぴりな濃厚♡
ちゅう♡ちゅう♡
ん♡ふ♡く♡さ♡



んふ♡ご馳走様♡
私も♡いい魔力供給に♡
なっ♡たよ♡

ダヴィンチちゃん
俺もう…

ぞんぞん
だんぞん

ひん、ひん、
ひん、ひん、
ひん、ひん、

は
↓
♡

は
↓
♡

ふふわわかってるさ♡
次は私のかつのお口に♡
もらおうかな♡

















